

八王子ITネットワーク 5月例会メモ

日時：平成30年5月17日（木） 18：30～20：00 参加者 12名

場所：サイバーシルクロード八王子

STEM教育および2020年プログラミング教育の義務化（東京工科大 千種氏）

- STEMとは、「Science（科学）」、「Technology（技術）」、「Engineering（工学）」、「Mathematics（数学）」の頭文字をとったものであり、世界的に注目されている。
- 背景としてはAIやIoTやロボットのプログラミングをする機会が増え、プログラミングが出来る人材を多く輩出する必要があり、STEM教育が効果的だと考えている。
- 一方で日本では2020年から小学校高学年対象にプログラミング教育が義務化される。
- プログラミング教育を受ける目的としては、論理的思考・問題解決・創造性の能力を養う。
- 21世紀の教育は、複数の専門を横断する事や統合する事により尖った専門性や自由で創造的な時代になる。
- プログラミング教育の市場規模は2020年には1兆円を超えると予想されている。
- 中学受験・高校受験にプログラミングの教科が取り込まれたら学習塾など民間企業にビジネスチャンスが訪れる。
- 一方でビジネスチャンスとしてプログラミング教育が始まる前に教員に教育する講習会のニーズが高まる。
- プログラミング教育を教える教材が世界で販売をされているので、どのように教材を組み合わせて子ども達に教えるかがポイントとなる。
- スクラッチを使ったプログラミング教育を受けたらと言って理系の方向に進むとは考えられない。
- プログラミングが出来る人材を増やす為には裾を広げる必要があり、スクラッチを使用してプログラミング教育を受けた学生は論理的思考・問題解決・創造性の能力を養う事ができ、プログラミングが出来る用になっている実績がある。
- 教育の方針などは文科省または東京都教育委員会から指令があるので、自治体独自の教育を打ち出す事があまりないが、今後考える必要があると感じる。
- 初等教育では、電子ブロックなどで興味を持たせ、その後スクラッチで教育した方が子ども達にとってプログラミングに興味を持たせる事が出来るのではないのでしょうか。